

市政、そこが知りたい!

一般質問 (要旨)



3月定例会では、次の31人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。

数多くの質問の中から、1人の議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。

なお、答弁文末の()内は、主な所管課です。



新教育長の所信を問う

松本 富男 議員

問 熊谷市の教育についてどのように考えているのか、新教育長の所信を伺いたい。

答 学校教育の目的は子供達の人格の完成を目指し、教育本来の目的に立ち返ることが重要であると考えている。学校・家庭・地域社会が各役割を果たすことを基盤として熊谷教育の充実を図るとともに、各年代層の市民に対し適切な生涯学習の場を提供できる事業を積極的に推進していきたい。(学校教育課)

○その他の質問項目
「ヒューマン・リソース・マネジメントについて」ほか

自治会活動の充実について

三浦 和一 議員

問 ①リサイクル活動奨励金の増額は可能か②地域の小さな公園を自治会等で管理できないか③市職員の自治会活動への積極的な参加は

④自治会と担当課のやりとりパソコンを活用できないか、それぞれ伺いたい。

答 ①合併時に統一した一キロ四円でお願ひしたい。②市民による自主的な管理運営ができるようお願いしていく。③職員参加や地域アドバイザー制度等のルール及び情報提供について研究していく。④行政から市民への情報提供は、安全性や実用性等を十分吟味し、検討していく。(市民活動推進課)

○その他の質問項目
「病児保育施設の設置について」

合併特例債の使い道について

小林 甚一 議員

問 新年度予算には計上されていないが、合併特例債の活用について伺いたい。

答 合併特例債は、新市建設計画に基づく事業等の経費に合併後十年間認められる地方債で、元利償還金の一部は後年度、普通交付税の基準財政需要額に算入される。今後は、起債事業を適正に選択し、新市建設計画に位置づけられた事業の地方債をできるだけ合併特例債に振り替え、有効に活用していきたい。(財政課)

○その他の質問項目
「随意契約について」ほか

教育環境の充実について

小林 一貫 議員

問 小中学校への扇風機設置は時代にマッチしているか、また、エアコン設置を検討できないか。



教室に設置された扇風機

答 旧熊谷市分の試算で用が約十億円、毎年の電気料金が約二千五百万円となることがわかり、厳しい財政状況の中、費用対効果を考慮し、扇風機の設置を決定した。平成十八年度は、市内全ての小中学校の普通教室に扇風機を設置する予定である。(教育総務課)

○その他の質問項目
「市民サービスについて」ほか

子ども議会について

福田 勝美 議員

問 子ども議会の開催について、市長の見解を伺いたい。

答 旧熊谷市では三回開催され、平成十六年度は、全小中学校の代表三十四名の子ども議員により行われた。議会の仕組みを実際に学ぶことは、市政や議会に興味を持ち、まちづくりに積極的に参加する意欲を育てるため、非常に効果があると考えており、開催に向けて調整を図っていききたい。(広報広聴課)

○その他の質問項目
「女性議会について」

循環バスの充実を

高橋 初 議員

問 ①一日六〜七便に増便できないか②間々田の停留所と男沼小学校の間に停留所を増設できないか。

答 ①現行の停車時間に運行すれば一便増便できるが、運転手の休憩やバスの遅延調整に必要な時間であり、増便にはバスの増車が必要となる。現在の乗車状況と